

シニア犬特別利用承諾書

ドッグサロンみるくはうすでは 10 歳以上のワンちゃんのご利用いただく際に、本承諾書にご署名をいただいております。本承諾書はシニア犬における獣医学的なストレス耐性の低下やその他特性を踏まえ、トリミングの施術に伴う危険性をご家族にご認識頂くことを目的としています。

トリミングの施術に従事する当店スタッフは高度な訓練及び知識を持ち、リスク低減させるよう最大限の努力をし、大切なワンちゃんをお預かりさせていただきます。
しかし、シャンプー及びトリミングはワンちゃんにとって、人が思うより遥かに負担とリスクがある事をご理解ください。

【お預かり・トリミングについての注意・免責事項】

【トリミングについて】

当店では、ストレスによる負担など様々なリスクを最小限に抑え、体力を温存させるため時間短縮を第一優先としております。

時間のかかるスタイルは行わず、無理な体勢や不要な施術（ヒゲカット等）など、負担にしかならない場合も切り残した状態でお返しする場合がございますが、ワンちゃんの為と思ってご理解ください。

また、一人で行う施術が難しい、当店ではワンちゃんの安全が確保出来ないと判断した場合は、獣医師の元での施術を推奨させていただく場合がございます。

【お預かり中の体調/怪我について】

施術中に万が一、体調不良又は皮膚の状態による怪我や事故などが発生した場合は、当方の判断により動物病院での診療・処置をおこなう場合がございます。

この場合に関しての動物病院での処置代金は、お客様にご負担いただくことになります。

慰謝料・賠償金につきましても一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

【万が一のお預かり中の死亡について】

シニアは身体機能や免疫機能、体力の低下が危惧されます。

施術により著しく体力を消耗する場合もあり、また血行が促進されることで血管が膨張し心臓麻痺、心筋梗塞、脳梗塞などを引き起こし死亡の原因となる場合がございます。

お預かり中の死亡もある事を、予めご理解・ご了承ください。

☐ 上記内容に同意します

年 月 日

ご署名

以上の内容をご確認し、同意に☑をいただいた上でご理解いただけたものと判断とし、施術をさせていただきます。

【シニア犬のお預かり・トリミングについての説明】

ワンちゃんにとってトリミングとは、人間が想像するよりも遥かに負担やストレスがかかります。

動物にとってストレスは、いとも簡単に体を蝕みます。

体力のない「老犬」であれば、トリミングによってかかる負担は想像以上にとても大きいものになる事を理解してあげなくてはなりません。

【シニアになると…】

獣医学の観点からワンちゃんは 8 歳以降からシニアと定義され、各種身体機能の低下や基礎疾患を保有している可能性があります。

施術に伴う負担としては、温度変化や過緊張を原因としたストレス(恒常性の変化)が挙げられ、当該要因により、上記器官における基礎疾患が顕著化する可能性があります。

内臓・関節・皮膚・目など、どこもかしこも弱くなっていきますので、ちょっとした事でも事故に繋がる場合がございます。

また、内面的にも、殆どのワンちゃんに「分離不安」「怯える」「我慢ができなくなる(嫌がるようになる)」「怒りっぽくなる(咬みつくようになる)」といった性格の変化が現れます。

今まで出来ていた事を嫌がるようになっていたり、極度に怯えるようになっていたり、感情の波が激しくなります。

これも「老化」の特徴で、病気や体の痛みや不調、視力・聴力等の衰えからくる精神的不安、老化に伴う判断力の低下などが原因だと考えられます。進行すると痴呆症になる可能性があります。

度合いはその子により全く違いますが、年齢が上がれば上がる程、症状は強まっていきます。

【飼い主様のご理解が必要な事】

当店がお受け出来る年齢は 13 歳までと定めておりますが、当店を継続的に利用されていて年齢を超えた場合は、コチラがその子の状態を把握出来ており、飼い主様や獣医師と連携がとれる場合に限り、以降もお受けしております。

ハイシニア(12歳～)になりますと、その子の状態に応じたの施術になる為、飼い主様のご理解とご協力が絶対条件となります。

- ・時短重視となる→短くさえなれば見た目は気にしないという気持ち
- ・無理な事はしない→やり残し、切り残しがあっても良いという気持ち
- ・飼い主様同伴での施術、数日に分けての施術となる→側にいてあげれば安心する、体力温存
- ・かかりつけ医の診療日、診療時間と日程が重なるように予約→何かあってもすぐに連れて行けるように
- ・施術時間以上のお預かりは不可(多頭の場合は別々に)→終わったらすぐ家に帰してやれるように
- ・やれない事だけをやってもらう→最終的にはご自身が家でやるべき状況になるかもしれない覚悟

体力の無いシニア犬は、ストレスや疲れの影響は時間が経ってから現れる場合が多く、その晩や翌日に体調を崩す事もあります。

トリミングの前はあまり疲れさせないようにし、トリミング終了後は確実に疲れておりますので、すぐに戻っておうちでゆっくり休ませてあげるようにしてくださいね！

